



2005年8月21日(日)東海道を歩きました。今回は、前回の最終地点、片浜駅から三島駅までの約11キロです。雄大な富士山を眺めながら歩きたかったのですが、今ひとつ天候に恵まれず、その思いは果たせませんでした。今年4回、興津から三島まで東海道を歩きましたが、青空と富士山という景色と出会うことはありませんでした。

片浜駅を出ると、目の前の道が“旧東海道”。そうかと思いながらしばらく歩き、刺激を求めて、海へ。千本松原を越えて、防波堤の上のサイクリングコースを沼津港へ向かいます。この旅の最大の目的は、沼津港の寿司屋での食事なのですが、旅の最後ではなく、中間地点というのがちょっとくせもの。思いっきりビールをあおりたいところですが、やや控え目に？肝機能障害で7月23日から8月1日まで入院していた町田は、チョー控え目に小さな小さなコップに1杯。食事を終えた一行は、仕方がないので三島駅までテクテク歩きます。狩野川の土手を歩きながら沼津アルプスを懐かしみ、伊豆旅行で立ち寄った柿田川湧水群を間近に通り過ぎ、ようやく着いた三嶋大社で芦ノ湖から旧街道を歩いてここまで来たことを思い出しました。ここから日本橋まではどこかで通った東海道ということでやめにして、今度は、丸子宿から宇津ノ谷峠を歩きます。



興津から三島で終了

2005年8月21日(日)7時30分、小田急線町田駅に集合したのは、小野さん、加藤夫妻、宮部夫妻、板垣さん、横山さん、町田の8名。東海道を歩くのは4回目。いつものように7時37分の小田急線で小田原へ行き、8時38分の東海道本線に乗り、熱海・沼津で乗り継いで片浜駅に着いたのは9時34分でした。

ところで、「さった峠ハイキング」で始まったこの東海道、今回の三島までで打ち切ります。小田原駅でJR線の切符を購入する際、運賃を探しながら思い出しました。最初に行った興津駅までは1450円だったんだなあ。そして今回の片浜駅は820円か…。

さて、片浜駅を降りると見覚えのある風景、つい先日のような気がしますすでに2ヶ月経っているのです。千本松原の中の遊歩道を沼津まで歩く勢いでいたところをここ片浜で止め、西友で乾杯しました。今日は、ここから歩き始め、沼津港の“魚がし鮨”で昼食をとり、三嶋大社まで行く予定です。この辺りは、つい先程まで雨が降っていたらしく、水たまりがあり、遠くで雷の音が聞こえます。上を見ると、東の空が暗く、私たちは雨雲を追いかけて歩くことになりそうです。



寿司屋まで3キロ

片浜駅の目の前の道が“旧東海道”で左へ向かいます。旧東海道といっても、昔の街並みが残されている場所は、今となっては本当に少なく、この辺りにはその気配がありません。20分ほど行ったところで海へ向かうことにしました。適当な路地を左に入り、しばらく進むと防波堤の上へ出ることができました。目の前は釣り場になっていて、海に向かって竿を投げる釣り人で賑わっています。右方向には吉原の工場地帯の煙突が、左方向には伊豆半島が見えます。防波堤の上は、富士川から沼津港へ続くサイクリング道路になっていて、距離を示す標識は、“沼津港から3000メートル、富士川河口から17500メートル”となっています。「沼津港まで3キロか、近いねえ」時刻は10時20分、沼津港には、ゆっくり行っても11時過ぎには着きそうですが、みんなの頭の中には沼津港から連想される寿司と生ビールが泳いでいました。それを煽るような匂いが漂ってきます。右下では、地引き網で捕れた魚のバーベキュー！こんなこともやってみたいねえ～。

ここから8キロ！

釣り場を過ぎると、今度は、海水浴場となっていました。まだ夏休みとはいえ、お盆過ぎの曇り空のためか、人出は少な目で



す。そう思ったところへ雨がポツポツと。動きの遅い雨雲に追いついてしまったようです。そして、気がつくと、サイクリング道路の起点にいました。すぐそこが目指す沼津港です。そして、なぜか道に迷うことなく、沼津港の寿司屋の前に到着します。“魚がし鮓市場店”です。「沼津アルプス」の時に行ったのは“魚がし鮓港店”で、ここから数百メートル国道寄りです。市場店のほうが座敷数が多く、混雑時席が離れずに座れるのでこちらにしました。



11時20分、待つことなく入店します。早速生ビールで乾杯！糖尿病を気にかける小野さんとアルコール性肝機能障害で入院した町田は中瓶をコップで少々。それぞれ好みの食事を注文し、名物の特大かき揚げをふたつ頼みました。今回の町田の入院のことや、保険のことなどで話が弾み店を出たのは、12時40分。それなりにアルコールも入り、このまま沼津駅から...、いえいえ三嶋大社まで約8キロ歩きますよ。

日本橋から 120 キロ、三條大橋へは...



市場店から港店の前を通り、狩野川に出ます。狩野川にかかる渚大橋の手前で狩野川の土手に入りました。次の永代橋で少し川を離れて沼津市街のビル群を歩きます。実はこの辺りが沼津城のあった場所なのですが、外堀後や川廓通りなどの史跡があるものの面影はまったくありません。地方都市の商店街になつかしさと寂しさを感じながら、川廓通りを抜けて、旧国一通りを歩きます。そして国道414号線を横切ってすぐに、右に旧道を進むと、江戸から三十里の一里塚跡があります。この日初め





ての東海道らしい雰囲気を感じ、みんなで記念撮影をしました。

旧道は再び旧国一通りに吸収され、しばらくして右に分かれて進みます。のどかな風景の黄瀬川を越えるとすぐに“長沢八幡宮”があり、“頼朝・義経兄弟 対面石”とあります。ここは、平家追討の兵を挙げた源頼朝に、奥州から駆けつけた義経が初めて会った場所ということです。そして、国道1号線と交差します。国道を右へ数百メートル行くと2年前の伊豆旅行で立ち寄った“柿田川湧水群”なのですが、寄り道することなく三島を目指します。国道を越えると左に玉井寺、右に宝池寺が並び、どりらの寺にも一里塚跡が残されています。江戸から二十九里です。いつしか雨雲は消え、夏の日差しが照りつけ、みんなそこから逃げるように足早に三島へ向かって行きます。



今度こそ三島でうなぎを！

ちょうど15時、伊豆箱根鉄道の三島広小路駅を通過しました。踏切を渡ってすぐ右側に時の鐘のある“三ツ石神社”があります。境内には三島駅近くの楽寿園内の小浜池から湧き出す源兵衛川が流れます。そのすぐ横が樋口本陣跡です。次の交差点を左に曲がると三島駅ですが、直進して三嶋大社へ向かいます。数百メートルの寄り道で4年前8月の「箱根旧街道 元箱根から三島」のゴールをつなごうというわけです。そういえば、その年の10月「柿田川湧水群」(沼津アルプスの予定でしたが雨のため)を歩き、12月「沼津アルプス」に登ったのでした。三嶋大社でしばらく休んで、記念撮影をして、“水辺の文学碑”の道を通って三島駅に向かいます。ここを歩いたのは4年も前のことなんですね。そして、三島でうまいうなぎを食べてみたいと思うのですが、いつも沼津の寿司に負けてしまいます。今回も三島に着いたらうなぎとも思ったのですが、沼津の寿司がまだお腹の中で泳いでいました。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
小野勝彦	194-0041	東京都町田市玉川学園 8-22-2 042-725-8403
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
宮部忠和	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
宮部香与子	192-0363	東京都八王子市別所 1-103-15 0426-78-0666
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577 ホ -22-101 042-793-1271
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662

